

吐山の墓制

研究課題

「墓と祖先祭祀についての法社会史的研究－家族・村落構造との関わりで」

1995年度 文部省科学研究費補助金 一般研究(C)

課題番号 06620010

研究代表者

森 謙二

(シオン短期大学)

1997年3月

はじめに

この報告書は、平成6(1994)年度から平成7(1995)年度までの2年間にわたる「墓と祖先祭祀についての法社会史的研究—家族・村落構造との関わりで」を研究課題とした文部省科学研究費補助金〔一般研究(c)〕に基づく研究成果である。

平成6年度研究経費 80万円 平成7年度研究経費 30万円

この報告書の公表にあたって、私は次のことを確認しておかなければならない。この報告書は、第一義的は資料の整理を目的とするものであり、資料の整理をいかに行うかが肝要であると考えている。この調査の過程のなかで、吐山の下部神社に保存されている資料を閲覧する機会があり、ここで利用した「墓籍簿」をはじめとしていくつかの資料を利用した。また、この調査では、吐山における墓石の調査を行い、墓石については一基毎に個票を作成した。墓籍簿を含め、この墓籍の個票もコンピュータに入力し、その資料整理を行ったが、これらのデータには多くのプライベート情報が含まれることになる。私にとっては、このプライベート情報をどのように扱うか、それをどのように公表するかが問題となってきた。

墓籍簿については、原資料を生々の形では公表しないことにし、統計的なデータだけを掲載することにした。名前や病名が掲載されているデータを生の形で公表することはできないと考えたからである。墓石については、私たちが収集した資料は生の形で公表することにした。墓石に刻まれた戒名は差別問題としばしば関わることもある(私の知る限りでは、吐山の墓石で差別戒名の問題は出てきていないが)。その点に関する配慮の必要性を認めながらも、墓石はもともと公共の空間のなかで公開されているものであり、このような資料を明らかにすることにより、これからの研究に寄与することが多いと考えたからである。しかし、公表する範囲については一定の限度を必要とするであろう。とりあえず、本報告書は三〇部だけ作成し、墓地を研究する専門家に見ていただければと考えている。いずれ、広く研究成果として公表する報告書については、改めて考えたいと思う。

この調査を実施するにあたっては多くの人々の協力を得た。調査開始時の吐山の惣代森田良三氏、調査が終了時の惣代草尾良一氏など多くの人々の協力を得た。御礼を申し上げたい。また、この調査は多くの人に手伝っていただいた。竹内康博氏(中京学院大学)、林研三氏(札幌大学)、山内健治氏(清修女子大学)、そして井上治代氏もこの調査に参加し、協力をしてくれた。また、一九九一年から一九九三年度までのシオン短期大学や明治大学のゼミの学生は墓地の調査に多くの時間を費やしたし、一九九四年度卒業の室岡功君・斉藤満貴君、鈴木三枝子さん、一九九五年度卒業の直井則祥君、小坂達郎君、斉藤達雄君、山柘暢人君、豊田みゆきさん、岩間久恵さん、そして一九九六年度卒業の加藤寛君や渡邊靖君にも資料整理などで特にお世話になった。お礼を申し上げたい。

1997年3月31日

研究代表者 森 謙 二

目 次

はじめに

一 概況と問題の所在 ……	1
二 各垣内の状況と墓地 ……	12
三 墓制の傾向 ……	22
四 結論 ……	29
【資料】	
・吐山の墓地 ……	30
・墓の形 ……	31
・資料 墓籍簿から見た各墓地の死亡者と死亡年齢（明治 18 年から大正 12 年まで） ……	33
・資料 吐山における石塔墓の形態 ……	36
1 極楽寺における石塔墓の形態 ……	41
2 小川口に石塔墓の形態 ……	43
3 地藏院における石塔墓の形態 ……	45
4 春明院における石塔墓の形態 ……	47
5 仏法寺における石塔墓の形態 ……	49
6 城福寺における石塔墓の形態 ……	51
7 田町における石塔墓の形態 ……	53
・資料 吐山における家族墓の建立 ……	55
・墓石データ	
1 極楽寺 ……	57
2 小川口 ……	73
3 地藏院 ……	79
4 春明院 ……	88
5 仏法寺 ……	99
6 城福寺 ……	106
7 田町 ……	114
・資料 墓地配置図 個票 ……	130